



働く人の快適さにこだわった展望ラウンジ

「バス浦安」を竣工し、それまでの規模の『アライプロバンス葛西』が完成した。この施設の最大の特徴は立地の優位性であり、昨今叫ばれている『2024年問題』は立地がソリューションになる」と強調。

さらに、「当社ならではの遊び心も忘れていない。展望ラウンジ、屋上テラス、コンピニ、ホテルライクなエントランス、アート庭園などを整備し、ここで働く皆さんに快適に過ごせるようホスピタリティにこだわった。土地区画整理事業として開発し、江戸川区への恩返しとして、今回、前面区道沿いに400mの歩道を提供し、将来施工分を含み、区道から江戸川に至る東西の緑道を3本提供する。3年後には江戸川にスーパード堤防が築かれ、その堤防と緑道を連結することでこの町に新たな回遊性が生まれる。この施設は物流業界のみならず、地域社会の貢献に一役買うことを確信している」と語った。

竣工パーティーでは、テープ

カットが行われ、書家による書道パフォーマンスも披露された。新井嘉喜雄会長は、工事関係者に謝辞を述べたうえで、「今から60年前、私は父親に連れられてこの場所に来たことがある。その後、アライプロバンスの前身である新井鉄工所の工場が次々と建設されていった。その工場跡地に最新鋭の物流倉庫が竣工した」と感慨を述べた。

### 交通アクセス、人材確保面でも競争力

同施設は東京都江戸川区東葛西の工業地域に立地し、総敷地面積は約3万5039㎡。首都高速湾岸線「葛西IC出口」から約4km、「浦安IC」から約7kmで羽田空港にも約22kmと陸・空の交通が充実し、物流拠点として最適なエリア。

東京メトロ東西線「葛西駅」から約1.8km、JR京葉線「葛西臨海公園駅」から約3.1kmに位置し、東京方面、千葉方面まで多路線の幅広いアクセスが可能で、バスの便も充実し、大型商業施設に隣接するなど、人材の確保においても競争力を持つ。

多用途・小分割のフロアがある一方、4・5階は2層使用できるメゾネットタイプで、1300〜3000坪の中規模物流拠点のニーズに最適。4階から5階の縦搬送では貨物用エレベーター（計4基）、垂直搬送機（計2基）を設置し、トラックパー

スと車路のない5階はより広くスペースを使える。

床耐荷重は1.5t/㎡で、1階は2.5tカウンターフォークに対応。柱スパンは10.8m×10.5m、梁下有効は5.5m（4階の一部は5.4m）を確保している。

プラットフォームは1.0mで、ドックレベラーは1〜4階に各5台ずつ、計20台を設置。トラックバスは128台（4t192台、10t128台）確保し、40ftコンテナ車にも対応する。ランプウエーは上りと下りを分け、トラック待機場は10台（10t車）、敷地内の駐車場116台（普通車109台、軽自動車5台、バス2台）、駐輪場149台（自転車133台、バイク16台）分を用意している。



テープカットの様子



新井社長